

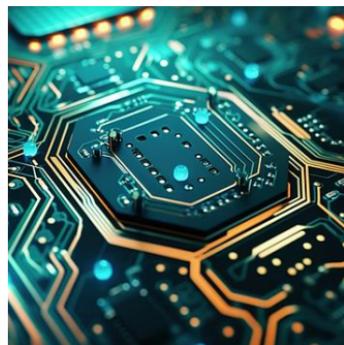


netXDC 高負荷ハウジングサービス 紹介資料

SCSK株式会社



SCSK



商号 : SCSK株式会社
取締役会長 : 山埜 英樹
代表取締役 執行役員 社長 : 當麻 隆昭
設立 : 1969年10月25日
資本金 : 21,420百万円 (2024年3月時点)
売上高 : 480,307百万円(2024年3月期 連結)
従業員数 : 16,296名(2024年3月31日現在 連結)
本社所在地 : 東京都江東区豊洲3-2-20 豊洲フロント
主要株主 : 住友商事株式会社(50.60%)
事業内容 : BPO、ITハード・ソフト販売、ITマネジメント、ITインフラ構築、
コンサルティング、システム開発、検証サービス



社外評価



SCSKのデータセンターサービス(netXDC)

netXDCとは、SCSKのデータセンターサービスの名称です。
関東は印西エリア、関西は三田エリアを中心にデータセンターサービスを展開しています。

全国7拠点、10センター、総床面積 約95,000m²



netXDCの詳しいご紹介は、[こちら](#)をご参照ください

生成AIなどに利用されるGPUサーバーや高速な計算・解析を行うHPCなどの高発熱・高排熱サーバー(高負荷サーバー)向けのハウジングサービスです。

netXDC印西キャンパス・三田キャンパスにてご提供いたします。
ハイレベルなファシリティとサービスを活用し、サーバーの安定稼働を実現します。



冷却機能

多様な冷却技術を組み合わせ
効率的な冷却を実現

- ・リアドア型冷却
- ・コールドプレート型冷却
- ・In-Row型冷却



30kVA+の高集積

1ラックあたり30kVA以上の
電力利用にも対応可能
高集積・高密度なGPUサー
バー・HPCの最適配置を実現



監視・運用サポート

24時間365日でサーバー
監視・運用を行うマネージド
サービスを提供



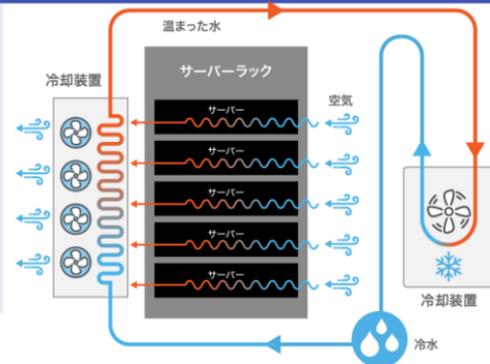
クラウド直接接続

印西キャンパス内から、主要
パブリッククラウドサービスへ
マルチクラウド接続が可能

リアドア型冷却/コールドプレート型冷却/In-Row型冷却の導入が可能です。
機器特性に合わせて最適な冷却方式を提供いたします。

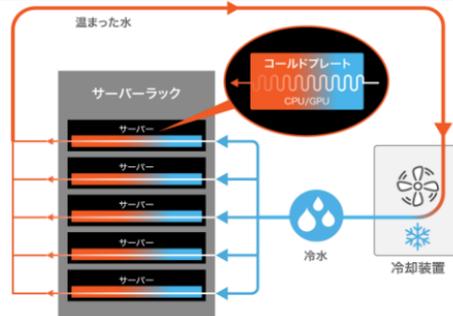
リアドア型冷却 (水冷)

ラックの背面に設置した冷却装置に冷媒を循環させ、高負荷サーバーが発する高排熱を効率的に除去し、冷却



コールドプレート型冷却(水冷)

サーバー内に取り付けた冷却プレートに冷媒を循環させ、高負荷サーバー内の発熱元を直接冷却



ラックあたり最大30kVA+の高集積ラックの実現

高負荷ハウジングサービスなら、1ラックあたり最大30kVA+の電力利用が可能です。
高集積・高密度かつ、サーバーラックへの機器最適配置を実現します。

高電力利用と高集積・高密度ラックを実現 高負荷ハウジングサービスのメリット

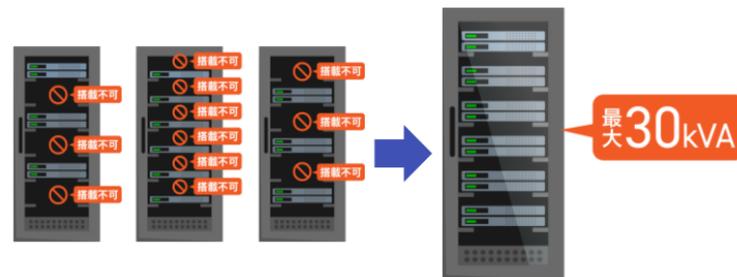
リアドア型冷却とコールドプレート型冷却を組み合わせることにより、
1ラックあたり30kVA以上の電力利用が可能



1ラックあたりの提供電力制限により、従来の右図のようにフルに搭載が
難しかったサーバーの収容が可能となる



- 1ラックあたりの稼働率が大きく向上
- ラックスペースの有効活用により、効率的なサーバー運用を実現
- 高負荷サーバーのハウジングコスト削減



24時間365日の監視・運用体制を提供しており、高負荷サーバーの安定稼働を実現します。

監視・通報サービス

統合監視機能



自動通知機能



フィルタ機能



- SCSKの統合監視システムによる24時間365日のリモート監視
- 障害時の自動通知機能でビジネス影響を最小化
- イベントのフィルタリングで正確・迅速な対応を支援

オペレーションサービス

24時間365日の シェアード型OP体制



ロケーションフリーの オペレーションサービス



オペレーター室は セキュリティも万全



- 24時間365日の運用を提供
- netXDC設置機器以外に、他社データセンター上のシステムやクラウド上のサーバも運用可能
- 多重のセキュリティポイントによりオペレーター室のセキュリティを担保

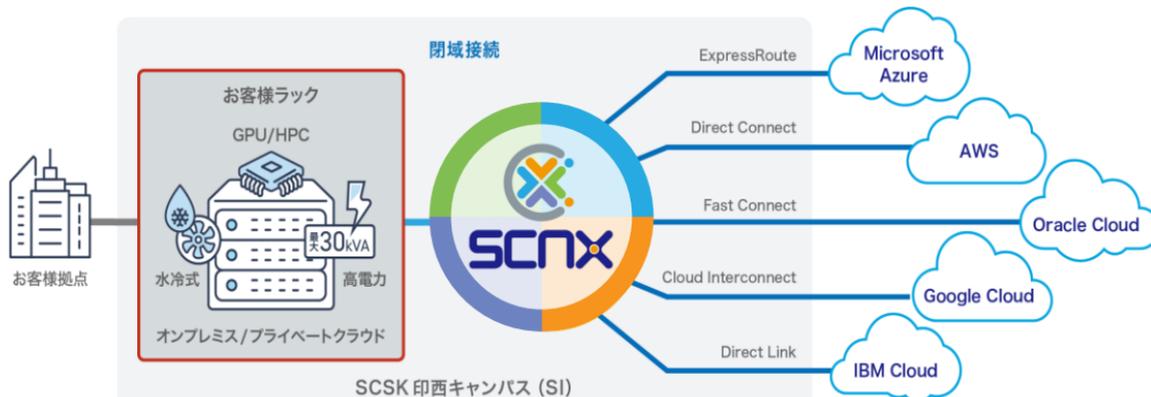
主要クラウドサービスとの直接接続

主要なパブリッククラウドサービスと直接接続が可能です。
各パブリッククラウドサービスとのシームレスな接続を実現します。

マルチクラウド接続サービス(SCNX)

netXDCのマルチクラウド接続サービス「SCNX」は、印西キャンパス内に主要クラウドサービスへの接続点を所有しており、複数のパブリッククラウドサービスと直接(閉域)接続が可能

高負荷ハウジングサービスでご利用のラックも「SCNX」を利用することで、主要クラウドサービス間のネットワークの遅延を最小限にし、かつ高い安定性・可用性・安全性に優れたシステム間連携を実現



(順次サービス追加予定)

SCNXの詳しいご紹介は、[こちら](#)をご参照ください

お問い合わせは、下記フォームまでお気軽にご連絡ください。

既にお問い合わせ頂いているお客様は、引き続き弊社担当よりご連絡させていただきます。

お問い合わせは[こちら](#)から



高負荷ハウジングサービス
お問い合わせフォーム

メールでのお問い合わせはこちらから



netx_contact@scsk.jp

netXデータセンター事業本部
セキュアコネクトサービス部 サービス推進課
高負荷ハウジングサービス担当

netXDCサービスサイトも是非ご覧ください



<https://www.scsk.jp/sp/netxdc/>